

京都支部 だより

Shouaikai Kyoto-sibu



パナソニック松愛会
京 都 支 部
2012年4月
第 12 号
発行人 北村 八郎
TEL/FAX:075-314-2489

京都支部ホームページ <http://www.shoai.ne.jp/kyoto/>

160名が新春懇親会に参加 クロマティックハーモニカを堪能

1月9日(月・成人の日)

に今年も京都タワーホテル9階「八閣の間」でパナソニック松愛会京都支部の新春懇親会を開催しました。今年には160名の参加で盛会になりました。

第1部は南里沙さんによるクロマティックハーモニカの演奏でスタートしました。南里沙さんはオーボエを専攻されましたが、クロマティックハーモニカに出会い、以来、世界のコンクールで数々の優秀な成績を収められたこの道の第一人者です。

まず、懐かしい童謡「月の沙漠」から始まり、私どもになじみの曲が高度なテクニックを駆使して次々と演奏され、うっとり聞き入りました。

全部で9曲を演奏され、クロマティックハーモニカの魅力を十分堪能することができました。途中、司会の大江副支部長と南里沙さんの軽妙なやりとりや、この企画の労をとっていただいた工藤慎一郎さんの演奏もありました。最後は、クロマティックハーモニカの伴奏で全員で「上を向いて歩こう」「故郷」を大合唱して締めくくりました。

入りました。

全部で9曲を演奏され、クロマティックハーモニカの魅力を十分堪能することができました。途中、司会の大江副支部長と南里沙さんの軽妙なやりとりや、この企画の労をとっていただいた工藤慎一郎さんの演奏もありました。最後は、クロマティックハーモニカの伴奏で全員で「上を向いて歩こう」「故郷」を大合唱して締めくくりました。

第2部が始まるまで、ロビーで南里沙さんのCDがサイン付きで販売されましたが、大好評で用意されたCDはあっという間に売切れ、うれしい悲鳴とともに魅力的な笑顔をいっぱい振る舞っていたきました。

第2部は懇親会で、北村支部長のあいさつの後、今年の年男であり遠路はるばる



南里沙さん
親会で、北村支部長のあいさつの後、今年の年男であり遠路はるばる

る京丹波町から駆けつけてこられた芋阪雅也さんのご

発声で宴はスタートしました。ほどなく楽しく話す声が会場の中に響きわたり、先ほどのハーモニカの余韻もさめやらず、皆さんはいい気分でした。

宴の後半は恒例の大抽選会で、今年も豪華な賞品がたくさん用意されました。また、協賛会社からも多くの特別賞が用意され、抽選

のたびに歓声

がわき、賞品をもらうときは皆さんは笑顔いっぱいでした。抽選会の後は、今年初めて参加された新会員3名が紹介され、最後は「京都・学ぶ会」会長の藤川泰さんに締め切

りいただきました。



演奏を聞く参加者の皆さん

京都・学ぶ会が「京都再発見バスツアー」を実施

「桜」「入学式」という春の季節が当てはまる4月を迎えました。私も昨年4月から地区委員を担当し2年目を迎えることになりました。この間、各種支部活動や友愛訪問を通じ、今まで接点のなかった方々ともお付き合いをする機会も増え、これまでとは異なる世界を体験し、実感することができました。皆さんは、それぞれに起業を含めた第二の仕事や趣味、社会貢献・地域活動・ボランティア活動と充実したセカンドライフを実現されているようにお見受けいたしました。また、その方々はおおむね私よりもご年配の方々で、多くはパワフルで元気はつらつ、意気軒昂な方々ばかりでした。「今日の自分昨日までの自分の結果。将来の自分は今日からの自分の結果」という言葉がありますが、改めてポジティブなエネルギーをいただき「心新たに頑張ろう！」と思いを強くした次第です。

京都・学ぶ会では、1月25日(土)に「京都再発見バスツアー」と称し、名物バスガイドの前田順子さんのご案内で京都市内の寺院を見学し、48名が参加されました。

前田順子さんは、今までに京都支部のバスツアーでたびたびご案内をいただき

ました。京都や各地の名所旧跡について大変造詣が深く、京都通の人も驚くほどです。今回、会員の皆さんからのご指名で、改めて京都市内の寺院を案内していただくことになりました。9時に京都駅を出発し、まず清水寺に向かいました。

(萩原 慶一)

(2ページに続く)